

令和5年度

ふるさと宮城の水循環保全条例第12条第6項
に基づく流域水循環計画の推進の状況の報告

〈南三陸海岸流域・北上川流域・

鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域〉

令和7年2月

宮 城 県

－ 目 次 －

I 流域水循環計画	1
II 健全な水循環の確保に関する取組の実施状況	4
1 概要	4
2 流域ごとの実施状況	5
(1) 南三陸海岸流域	7
(2) 北上川流域	9
(3) 鳴瀬川流域	13
(4) 名取川流域	15
(5) 阿武隈川流域	19
(6) 複数流域にまたがる取組	21
3 水道水源特定保全地域の指定	24
4 流域水循環計画推進会議の開催	25
5 管理指標による状況評価	26
(1) 南三陸海岸流域	26
(2) 北上川流域	27
(3) 鳴瀬川流域	28
(4) 名取川流域	29
(5) 阿武隈川流域	30
(6) 宮城県全体の管理指標まとめ	31

なお、本報告は、ふるさと宮城の水循環保全条例第 12 条第 6 項に基づく流域水循環計画の推進の状況の報告となります。

I 流域水循環計画

流域水循環計画は、「ふるさと宮城の水循環保全条例（平成16年宮城県条例第42号）」（以下「条例」という。）に基づき策定するもので、流域における健全な水循環の保全を図ることを目的とし、流域の水循環の課題への対応、流域の上流から下流までが一体となり、県民、民間団体、NPO法人、事業者、関係行政機関等による連携・協働を図っていくための具体的な施策を定めるものである。

県内を5つの流域に分け、条例第12条第2項の規定により、健全な水循環の保全を図る緊急度が高いと認められる流域から順に流域ごとの水循環計画を定めた。

鳴瀬川流域水循環計画については、平成21年3月に第1期、平成31年3月に第2期計画を策定した。

北上川流域水循環計画及び名取川流域水循環計画については、平成23年1月に第1期、令和3年3月に第2期計画を策定した。

一方、平成23年3月に発災した東日本大震災時点で未策定であった南三陸海岸流域、阿武隈川流域の流域水循環計画については、津波等により沿岸域における防護施設の被災や生態系の攪乱など、発災前後で流域の水循環を取り巻く環境が大きく変化したため、復旧・復興事業の完了を待って策定する方針とし、令和4年3月に第1期を策定した。

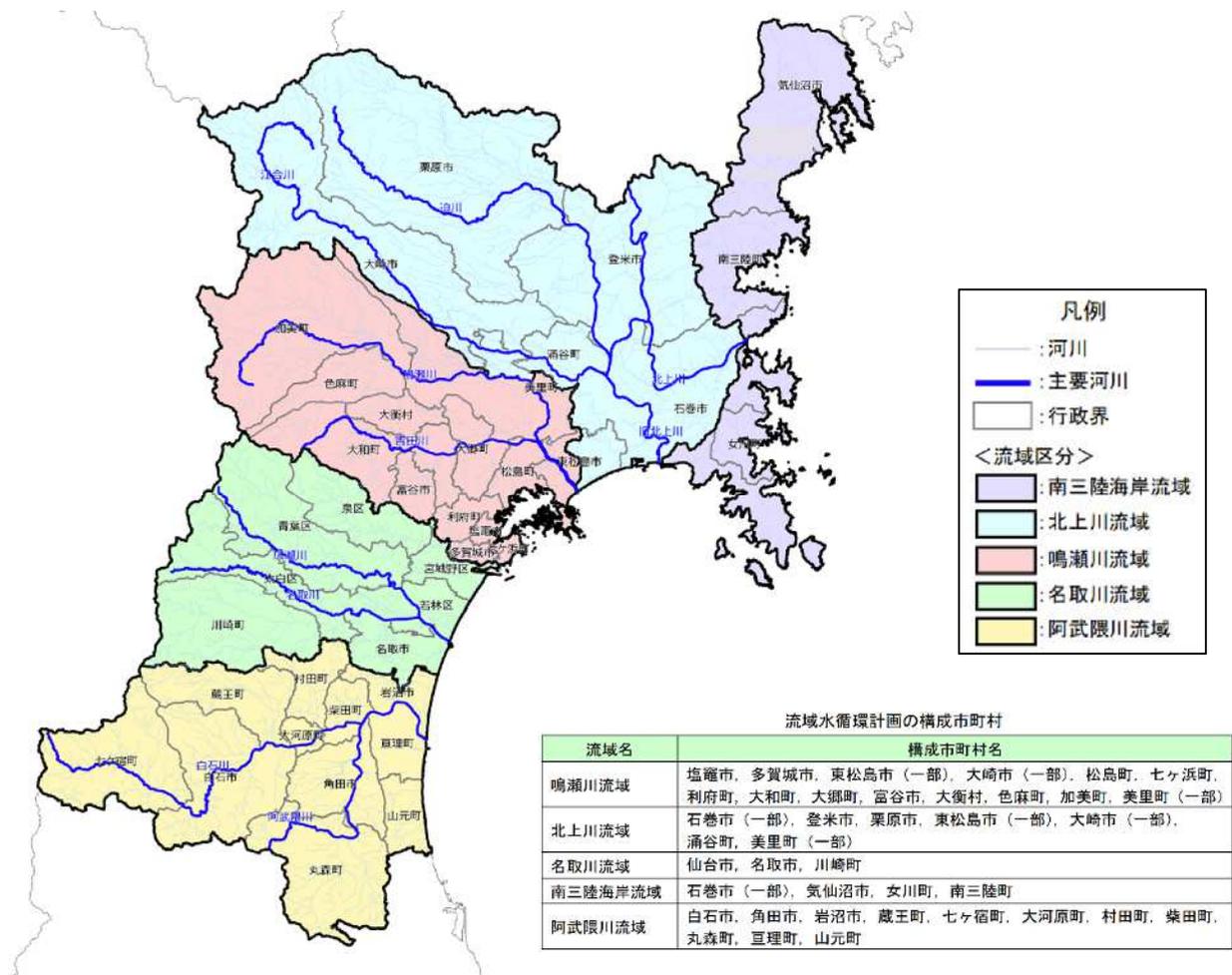


図 I-1 流域区分図

表 I 計画期間

計画	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)		
基本計画							第1期計画 (H18~R2)										第2期計画 (R3~R12)				
鳴瀬川流域							第1期計画 (H20~H29)									第2期計画 (H30~R9)					
北上川流域								第1期計画 (H22~R1)									第2期計画 (R2~R12)				
名取川流域								第1期計画 (H22~R1)									第2期計画 (R2~R12)				
南三陸海岸流域																		第1期計画 (R3~R12)			
阿武隈流域																		第1期計画 (R3~R12)			

各流域水循環計画では、それぞれ以下の課題と対応が示されており、これを踏まえ、各関係機関が各種事業を実施している。

表 II 流域水循環計画における課題と対応

流域水循環計画(第1期)における課題		課題に対する対応
南三陸海岸流域	清らかな流れ ○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響	○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○生活排水処理施設整備による流入負荷量の削減 ○持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業による水質等調査
	豊かな流れ ○渇水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響	○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco dot)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結
	安全な流れ ○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化	○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供
	豊かな生態系 ○藻場の再生・保全	○宮城県藻場ビジョンに基づく、磯焼け対策等
	○気候変動等に伴う生態系の変化 ○プラスチックによる海洋汚染問題	○生態系に係るモニタリングやデータの収集 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進
流域水循環計画(第2期)における課題		課題に対する対応
北上川流域	清らかな流れ ○伊豆沼・内沼、蕪栗沼等の閉鎖性水域の水質改善・維持	○伊豆沼・内沼自然再生事業実施計画に基づく水質改善 ○蕪栗沼環境管理基本計画に基づく遊水地機能の維持と自然環境の保全 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組む地域の水環境保全活動 ○環境保全型農業の推進
	豊かな流れ ○渇水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響	○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco dot)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結
	安全な流れ ○洪水時の防災体制の強化	○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供
	豊かな生態系 ○水生生物の生息環境の保全	○伊豆沼・内沼自然再生事業実施計画に基づく湖沼生態系の再生 ○水環境保全の普及啓発 水生生物調査
	○マイクロプラスチック等による海洋汚染への意識啓発	○スマイルサポーターによる美化活動等の推進

流域水循環計画(第2期)における課題		課題に対する対応		
鳴瀬川 流域	清らかな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○漆沢ダム、南川ダム等湖沼の水質改善 ○松島湾等海域の水質改善 ○水環境を大切にする啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○水源であるダム湖水质の適切な維持・管理 ○人工林の適切な保育及び間伐 ○長伐期施業、複層林施業、広葉樹林施業などによる多様な森林整備の推進 ○保安林指定及び適切な管理 ○下水道・浄化槽等整備の着実な推進 ○下水道の高度処理の推進 ○環境保全型農業の推進 ○高城川・貞山運河・東名運河の浚渫 ○水質・底質モニタリング調査の実施 ○関係団体が実施する環境教育等への積極的な参加、支援 ○環境教育の場としての水辺空間創出 	
	豊かな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○水の効率的な使用及び適正な利水 ○地下水涵養機能の向上(森林や農地等の適切な管理) ○新たな水資源開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○節水の普及啓発 ○巧みな水利用の継承とコミュニティの維持 ○農業水利施設の持続的な機能の発揮 ○濁水情報連絡会や利水委員会等による濁水時の低水管理及び円滑な水利用等の調整 ○人工林の適切な保育及び間伐 ○長伐期施業、複層林施業、広葉樹林施業などによる多様な森林整備の推進 ○耕作放棄地の発生防止、解消 ○鳴瀬川総合開発事業による漆沢ダムの治水専用化と筒砂子ダムの整備 	
	安全な流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○河川整備率の向上 ○海岸整備率の向上 ○東日本大震災による広域的地盤沈下への対応 ○危機管理体制の強化と防災意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○水害常襲河川における改修の着実な実施 ○鳴瀬川総合開発事業による漆沢ダムの治水専用化と筒砂子ダムの整備 ○甚大な被害を与えた東日本大震災、H27.9関東・東北豪雨への対応 ○災害復旧事業、復興事業の着実な実施 ○排水機能の向上 ○ハザードマップ、防災訓練・教育、情報収集・伝達体制の充実等、被害をできるだけ軽減するためのソフト対策の推進 	
	豊かな生態系	<ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性の保全 ○豊かな自然環境の保全 ○環境を大切にする啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○長伐期施業、複層林施業、広葉樹林施業などによる多様な森林整備の推進 ○保安林の適正な管理と整備 ○溪畔林・河畔林の保全 ○農村部の水田や屋敷林における湿地生態系の保全 ○河道内・周辺環境に配慮した河道改修など多自然川づくりの推進 ○侵略性外来生物の駆除 ○自然公園及び自然環境保全地域・緑地環境保全地域の指定 ○身近にある里地里山の自然環境の保全 ○自然環境の保全に配慮した開発行為への誘導 ○関係団体が実施する環境教育等への積極的な参加 ○環境教育の場としての水辺空間創出や学習機会の提供 	
	流域水循環計画(第2期)における課題		課題に対する対応	
	名取川 流域	清らかな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○釜房ダム等の閉鎖性水域の水質改善・維持 	<ul style="list-style-type: none"> ○釜房ダム貯水池に係る湖沼水質保全計画に基づく汚濁負荷低減対策 ○閉鎖性水域に関する自然汚濁負荷削減対策調査 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組む地域の水環境の保全活動 ○環境保全型農業の推進
		豊かな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○濁水時の水利用調整 ○水量減少に伴う魚類のへい死 ○大規模開発による水循環への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○濁水情報連絡会等での情報の共有 ○導水等による河川流量の確保 ○みやぎ e 行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○魚道等における遡上降下環境の改善 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結
		安全な流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○洪水時の防災体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供
		豊かな生態系	<ul style="list-style-type: none"> ○蒲生干潟、井戸浦・広浦等の再生 ○干潟や海岸、市街地近傍河川、水路等の生物多様性の保全 ○水生生物の生息環境の保全 ○マイクロプラスチック等による海洋汚染への意識啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○河川・海岸復旧工事箇所におけるモニタリングの実施 ○東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査 ○水環境保全の普及啓発 水生生物調査 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進
	流域水循環計画(第1期)における課題		課題に対する対応	
	阿武隈川 流域	清らかな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組む地域の水環境保全活動 ○環境保全型農業の推進
		豊かな流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○濁水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○濁水情報連絡会等での情報の共有 ○導水等による河川流量の確保 ○みやぎ e 行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結
安全な流れ		<ul style="list-style-type: none"> ○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供 	
豊かな生態系		<ul style="list-style-type: none"> ○水生生物の生息環境の保全 ○プラスチックによる海洋汚染 	<ul style="list-style-type: none"> ○水環境保全の普及啓発 ○水生生物調査 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進 	

Ⅱ 健全な水循環の確保に関する取組の実施状況

Ⅰ 概要

(1) 清らかな流れ

公共用水域の水質調査、水生生物調査及び活動団体や市町村による美化活動が実施された。また、活動団体を中心に行われている小中学生等への環境教育も継続的に実施された。

(2) 豊かな流れ

流域内における水源かん養機能を維持し、豊かな水量を確保するための計画的な森林の整備・保全が実施された。また、森林の育成を目的とした植樹活動も関係行政機関と活動団体が連携して継続的に実施された。

(3) 安全な流れ

海岸部では、海岸防災林の再生活動などを通して防災活動が実施されたほか、小学生に対する教育活動も実施された。このような活動により、東日本大震災からの復旧・復興事業が着実に進捗した。

(4) 豊かな生態系

山間部では、森林の保全・整備が実施されるとともに、植樹活動も行われた。河川などの水域では、身近な生き物調査の実施や在来種の保護等、生態系の保全に努めた。また、様々な団体が連携して実施された環境保全活動を通して、身近な環境を大切にする意識の醸成が図られた。

2 流域ごとの実施状況

流域ごとにおける関係団体等の取組事例は次のとおりである。

なお、【 】内は報告団体を、枠内の清らか、豊か、安全、生態系は、それぞれ前述の清らかな流れ、豊かな流れ、安全な流れ、豊かな生態系を示している(着色部が該当する取組分類)。

表Ⅲ 関係団体等の取組事例一覧

流域区分	資料番号	事業名	取組実施者、連携団体等	清らかな流れ	豊かな流れ	安全な流れ	豊かな生態系
南三陸海岸流域	1	あつまれ、はまわらす！	NPO法人浜わらす、みやぎ海岸美化協議会	○			
	2	社会協働教育・体験受け入れ	NPO法人浜わらす、日門定置網漁業生産組合	○			
	3	南三陸少年少女自然調査隊(年間活動)	南三陸少年少女自然調査隊、南三陸高校自然科学部、おきなくらEELs、南三陸町自然環境活用センター ほか	○	○		○
	4	田んぼの生き物観察会	童子下生き物研究会、南三陸米地産地消推進協議会、南三陸町教育委員会(入谷小学校)	○	○		○
	5	気仙沼湾内の海面清掃作業	NPO法人気仙沼清港会	○		○	○
	6	ビーチクリーン(5月・7月・9月)	気仙沼本吉サーフィンクラブ、小泉ユニバーサルビーチユニット・小泉地域づくり協議会・気仙沼市・宮城県他多数	○			○
	7	南三陸海岸流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署		○		○
	8	水田の生き物観察会	新童子下集落(中山間地域等直接支払交付金)、南三陸米地産地消推進協議会、新みやぎ農業協同組合、気仙沼農業改良普及センター				○
北上川流域	9	河川清掃、自然体験(カヌー体験、クラブ活動)、北上川とみやぎの運河群流域連携	NPO法人ひたかみ水の里、国土交通省北上川下流河川事務所、宮城県東部土木事務所、石巻市、石巻市観光協会、一般社団法人貞山運河ネット、角張工務店	○			
	10	環境美化活動	日本製紙株式会社石巻工場	○			
	11	川の生き物調査隊～水辺に生息する水生生物を調査します！	石巻市市民生活部環境課、NPO法人海の自然史研究所	○			○
	12	クリーンアップ湖沼群	登米市環境市民会議、NPO法人伊豆沼・長沼水環境ネットワーク、佐沼ロータリークラブ、平沼沼・いきもの保全隊等	○			○
	13	あつまれ鳴子ダム	NPO法人鬼首山学校協議会、鳴子ダム、大崎市	○			○
	14	「田んぼの学校」(稲作体験、生き物調査、施設見学)	石巻地区管理体制整備推進協議会、北上地区保全会、石巻市立北上小学校(2・3年生)、北上川沿岸土地改良区、石巻市、北上地区保全会(施設見学を除く)、宮城県(東部地方振興事務所農業農村整備部)		○	○	○
	15	森林づくりのための保育作業及び災害復旧箇所への植樹活動	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署、NPO法人、地域住民等		○		○
	16	北上川流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署		○		○
	17	東日本大震災からの復興と海岸防災林の再生	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署、NPO法人、一般企業			○	○
	18	北上川水系水辺現地調査(河川環境基図)	北上川下流河川事務所				○
	19	令和5年度 伊豆沼・内沼における外来魚低密度管理を目指した捕獲等業務	東北地方環境事務所				○
鳴瀬川流域	20	みやぎ出前講座「田んぼの学校」	東部地方振興事務所登米地産地消推進協議会、追川沿岸土地改良区、裏大岳ふる里守り隊				○
	21	伊豆沼・内沼自然再生事業、よみがえれ在来生物プロジェクト	宮城県環境生活部自然保護課、伊豆沼・内沼自然再生協議会				○
	22	しちがはまクリーンサポートプログラム、巡回監視・回収	七ヶ浜町、ボランティア団体	○			
	23	河川清掃	色麻町河川愛護会、色麻町	○			
	24	地域交流「めだかの学校びおと〜ぶ」(稲刈り体験学習)	NPO法人石母田ふる里保全会、加美町立宮崎小学校、宮城県(北部地方振興事務所農業農村整備部)	○			○
	25	野蒜築港の研究、伝承、遺産保護、地域活性化	野蒜築港ファンクラブ		○		
	26	鳴瀬川流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署		○		○
	27	みやぎ出前講座(仕組み丸わかり！模型で説明「田んぼダム」)	仙台地方振興事務所農業農村整備部、大和町立落合小学校、大和町			○	
	28	鳴瀬川水系水辺現地調査(鳥類)	北上下流河川事務所				○
	29	水生生物調査	多賀城市、東北緑化環境保全株式会社				○
	30	「田んぼの学校」(生き物調査)	東松島地区管理体制整備推進協議会、東松島市立鳴瀬桜華小学校、鳴瀬土地改良区、河南矢本土地改良区、東松島市、宮城県(東部地方振興事務所農業農村整備部)				○
	31	持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(鳴瀬川における魚類相調査)	宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場、鳴瀬吉田川漁業協同組合				○

名取川流域	32	水質汚濁対策連絡協議会による活動	名取川水系水質汚濁対策連絡協議会、国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町、水系内消防本部	○			
	33	広瀬川1万人プロジェクト(一斉清掃)	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会、実行委員会に加入している地元企業、及び国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所、宮城県、名取市、仙台市(建設局百年の杜推進課)など	○			
	34	増田川の清掃活動	キラキラバルク増田西、区長会、町内会連合会理事	○			
	35	貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり	新浜町内会、貞山運河倶楽部、カントリーパーク新浜、せんだいメディアテーク、NPO法人水・環境ネット東北、東北学院大学(平吹ゼミ、菊池ゼミ)、宮城教育大学(棟方ゼミ)	○	○		
	36	水生生物による簡易水質調査	仙台河川国道事務所	○			○
	37	青下の杜プロジェクト	仙台市水道局、協力企業	○			○
	38	水源の森活動、工場周辺清掃活動、防風林育樹活動	キリンビール株式会社仙台工場、日本森林業振興会、みやぎ森の会	○			○
	39	水辺教室	宮城県環境生活部環境対策課、川崎町町民生活課	○			○
	40	名取川水系河川水辺の国勢調査(植物)	仙台河川国道事務所				○
	41	ガサガサ体験	キラキラバルク増田西、増田西小学校協働本部				○
	42	みやぎの地域資源保全活用支援事業における環境学習会	仙台地方振興事務所農業農村整備部、名取市立高館小学校				○
	43	持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(広瀬川における天然アユの遡上調査)	宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場、広瀬名取川漁業協同組合				○
	44	蒲生干潟自然再生協議会及び構成員による活動	宮城県環境生活部自然保護課、蒲生干潟自然再生協議会、蒲生を守る会、蒲生のまちづくりを考える会、日本野鳥の会宮城県支部、環境省東北地方環境事務所、仙台市、宮城県				○
	阿武隈川流域	45	水質汚濁対策連絡協議会による活動	阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支会、国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町、水系内消防本部	○		
46		河川空間美化&竹財活用プロジェクト	NPO法人あぶくまの里山を守る会、一般財団法人丸森町観光物産振興公社	○			
47		蔵王ジオパーク構想 出前講座「流れる水のはたらき」	蔵王町環境政策課ジオパーク推進室、蔵王町教育委員会	○	○	○	○
48		南蔵王の荒地を広葉樹の森へ復元する事業	NPO法人蔵王のブナと水を守る会		○		○
49		阿武隈川下流河川水辺の国勢調査(両生類・爬虫類・哺乳類)	仙台河川国道事務所				○
50		みやぎの地域資源保全活用支援事業における生き物調査(白石市立福岡小学校)	白石市土地改良区、白石市立福岡小学校、宮城県大原地方振興事務所				○
51	互理用水路学習会	互理土地改良区、東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所、宮城県仙台地方振興事務所、宮城県土地改良事業団体連合会、互理町、山元町、みやぎ互理農業協同組合				○	
複数流域にまたがる取組	52	フィールドミュージアム事業	フィールドミュージアム運営協議会、石巻市、南三陸町、特定非営利活動法人海の自然史研究所				○
	53	水質汚濁対策連絡協議会による活動	北上川水系水質汚濁対策連絡協議会、江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会、国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町村、水系内消防本部	○			
	54	協定締結による国民参加の森林づくり	林野庁東北森林管理局仙台森林管理署、民間団体、一般企業		○	○	○
	55	宮城県海ごみ環境教育学習	宮城県環境生活部循環型社会推進課、みやぎ海岸美化協議会	○			
	56	みやぎの里山林協働再生支援事業	宮城県環境生活部自然保護課、森林所有者、企業及び団体、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会等				○
	57	多面的機能支払交付金事業	多面的機能支払に係る活動に取組む活動組織(989組織)、土地改良区、自治会、PTA、子供会等	○	○	○	○
	58	みやぎスマイルリバープログラム	スマイルリバーサポーター(総称)、関係市町村	○	○	○	○
	59	みんなの森林づくりプロジェクト推進事業	宮城県水産林政部林業振興課、地域団体等(30団体)		○		○
	60	百万本植樹事業	宮城県環境生活部自然保護課				○

(1) 南三陸海岸流域

1) あつまれ、はまわらす!【特定非営利活動法人 浜わらす】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

自然体験事業、ビーチクリーン、漂着物調査等を実施した。



2) 社会協働教育・体験受け入れ【特定非営利活動法人 浜わらす】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

ビーチクリーン、海浜植物植栽や環境学習等の社会協働教育・体験受け入れを実施した。



3) 南三陸少年少女自然調査隊【南三陸町】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

ラムサール条約湿地志津川湾や南三陸町の森・里・川・歴史を学習し、壁新聞制作(こどもエコクラブ全国フェスティバル2024特別賞「タカラトミー賞」受賞)等により、その素晴らしさを町内外の人たちへ伝え広げた。



4) 田んぼの生き物観察会【南三陸町】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

外部講師を招き、収集した生き物を観察し、水田とその周辺で生息している生き物との関係や環境保全の大切さを子どもたちに実感してもらった。観察後は「南三陸米」のおにぎりを食べ、自然豊かな環境とそこで育つお米のおいしさを味わった。



5) 気仙沼湾内の海面清掃作業【特定非営利活動法人 気仙沼清港会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

宮城県所有の海面清掃船『海清丸』を使用し海面に浮遊するごみを回収したり、不法投棄等の監視パトロールを海洋から行ったほか、気仙沼湾内に流出した油（漁船の燃料等）を清掃船を使って攪拌する等した。



6) ビーチクリーン【気仙沼本吉サーフィングクラブ】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

民間団体や行政機関と連携し、各種ビーチクリーン活動を実施した。



7) 南三陸海岸流域における森林づくり(森林環境保全整備事業等)【宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

造林木の生育を阻害している侵入木や形質不良木を除去するための「除伐」、「除伐Ⅱ類」や林分密度の調整により、林床植生の発達を促すとともに造林木間の競争を緩和し残存木の成長促進を図るための「保育間伐」を実施した。また、皆伐跡地には再造林や下刈作業を実施した。



8) 水田の生き物観察会【宮城県農政部農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

南三陸町立入谷小学校の児童3、4年生16名を対象として、新童子下集落協定内の水田周辺で生き物調査を実施した。

外部講師指導のもと、水生生物を中心に採取し観察を行って、生態系や環境保全について学習した。



(2) 北上川流域

9) 河川清掃、自然体験(カヌー体験、クラブ活動)、北上川とみやぎの運河群流域連携

【特定非営利活動法人 ひたかみ水の里】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

北北上運河の河川の清掃・除草活動、毎週土曜日のクラブ活動(カヌー体験、水質調査、アウトドアクッキング、河川清掃活動など)や川のイベント(みやぎの運河群と北上川上流めぐり、登米市で作った米の舟運再現イベント)を実施した。



10) 環境美化活動【日本製紙株式会社 石巻工場】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

石巻工場および雲雀野発電所周辺の清掃を行った。



11) 川の生き物調査隊～水辺に生息する水生生物を調査します!【石巻市】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

水生生物の生息状況の調査を日向川の2地点で実施し、水質汚濁状況の比較や環境保全・環境美化意識の向上を図った。



12) クリーンアップ湖沼群【登米市】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

登米市の重要な湖沼である長沼や平筒沼などの、豊かな自然環境の保全と環境美化のため清掃活動を、9月と3月の2回実施した。



13) あつまれ鳴子ダム【特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

水源地の森や川を案内し、遊びを通じた学びの場を提供したほか、水源地域の森や川の生きものを調査し、豊かな生態系を知る機会を提供した。



14) 「田んぼの学校」(稲作体験、生き物調査、施設見学)【宮城県農政部農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

稲作体験として稲の成長について、1年を通じて学習する活動を実施したほか、生き物調査として、生き物を採取することで、豊かな生態系や、農業・農村の多面的機能について理解を深めた。

また、北上大堰から稲作体験を行った学習田までの施設を巡り、北上川からどのように送水されているのか理解を深めた。



15) 森林づくりのための保育作業及び災害復旧箇所への植樹活動【宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

NPO法人に国有林野のフィールドを提供し、地域住民等との森林整備・保全活動等を実施した（森林整備・保全活動等：0.10ha（植付、下刈））。



16) 北上川流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)【宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

造林木の生育を阻害している侵入木や形質不良木を除去するための「除伐」、「除伐Ⅱ類」や林分密度の調整により、林床植生の発達を促すとともに造林木間の競争を緩和し残存木の成長促進を図るための「保育間伐」を実施した。また、皆伐跡地には再造林や下刈作業を実施した。



17) 東日本大震災からの復興と海岸防災林の再生【宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

東日本大震災により被災した東松島市の海岸防災林の再生に向け、植生基盤を造成後、その一部の区域を民間団体等と協定を締結し、森林づくりを行っている。

保育作業（植付、下刈、つる切）は、令和11年度まで実施することとしている。

なお、令和5年度は、12団体21協定による活動を5.41haを実施した。



18) 北上川水系水辺現地調査(河川環境基図)【東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

北上川水系北上川、旧北上川、江合川、新江合川、二股川の直轄管理区間を対象として、河川環境基図作成調査を実施し、河川管理上の基礎資料を作成した。



19) 令和5年度 伊豆沼・内沼における外来魚低密度管理を目指した捕獲等業務

【東北地方環境事務所】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

電気ショッカーボート、定置網、三角網(サデ網)等による成魚及び稚魚等の捕獲、人工産卵床を用いた外来魚の卵の採取を実施した。また採取した外来魚データ(個体数、体長等)、捕獲(生息)場所の環境情報の把握、整理や、外来魚モニタリングにおける環境DNA調査の有用性を確認した。



20) みやぎ出前講座「田んぼの学校」【宮城県農政部農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

登米市立東郷小学校 5年生25人を対象として活動を実施した。「田んぼの役割について」をテーマに農業農村の持つ働きについて説明し、生き物調査とパックテスト(pHとCOD)を使用して水質調査を実施した。



21) 伊豆沼・内沼自然再生事業、よみがえれ在来生物プロジェクト

【宮城県環境生活部自然保護課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

多様な生物が生息、生育する淡水湖沼の生態系の再生を目指し、自然再生推進法に基づく自然再生事業等として、エコトーンの造成(移行帯の造成)、水質改善効果検討調査(伊豆沼の水質検査等)、在来生物増加促進対策(カラスガイの増殖・系統保存等)、外来生物対策(電気ショッカーボート等による外来魚の駆除等)、ハスの適正管理(大規模なハス刈取り)及び鳥類モニタリング調査を実施した。



(3) 鳴瀬川流域

22) しちがはまクリーンサポートプログラム、巡回監視・回収【七ヶ浜町】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

しちがはまクリーンサポートプログラムには令和5年度末時点で28団体の登録があり、のべ約490名による計29回の清掃活動の結果、ゴミ袋282袋分を回収処分した。



23) 河川清掃【色麻町】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川の整備を行い天災を防止し、地域住民の共同の福祉を増進することを目的に雑草木の刈払いを実施した。



24) 地域交流「めだかの学校びおと〜ぷ」(稲刈り体験学習)

【宮城県農政部農山漁村なりわい課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

多面的機能支払交付金を活用し、石母田ふる里保全会が宮崎小学校小学6年生を対象に稲刈り体験学習を行い、伝統的な稲刈りを体験することによって、自然と触れ合うことができ、田んぼの適切な維持について健全な水循環の保全が重要であることを学んだ。



25) 野蒜築港の研究、伝承、遺産保護、地域活性化【野蒜築港ファンクラブ】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

野蒜築港に関する生涯学習を啓発し、地域資産としての保全活用に努めるため、東松島市立鳴瀬桜華小学校6年生校外学習協力、会報(ファンクラブ通信)上での意見交換・研究報告を実施した。



26) 鳴瀬川流域における森林づくり(森林環境保全整備事業)【宮城北部森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

造林木の生育を阻害している侵入木や形質不良木を除去するための「除伐」、「除伐Ⅱ類」や林分密度の調整により、林床植生の発達を促すとともに造林木間の競争を緩和し残存木の成長促進を図るための「保育間伐」を実施した。また、皆伐跡地には再造林や下刈作業を実施した。



27) みやぎ出前講座(仕組み丸わかり!模型で説明「田んぼダム」)

【宮城県農政部農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

大和町立落合小学校を対象に実施した。田んぼダムの仕組みとその効果について、模型を用いながら説明を行い、田んぼダムの仕組みや下流の市街地等に対して果たす役割について理解促進を図った。



28) 鳴瀬川水系水辺現地調査(鳥類)【東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

鳴瀬川水系鳴瀬川、吉田川、鞍坪川、多田川、善川、竹林川の直轄管理区間を対象として、鳥類調査を実施し河川管理上の基礎資料とするため、鳥類の分布状況の経年変化を確認した。



29) 水生生物調査【多賀城市】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

参加者(市内小学生とその保護者)に対し、砂押川の自然環境へのふれあいの場を提供し、生態系環境の観察会を実施した。



30) 「田んぼの学校」(生き物調査)【宮城県農政部農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

令和4年度に引き続き、県営造成施設管理体制整備促進事業の推進活動の一環として、東松島市立鳴瀬桜華小学校5年生を対象に生き物調査を実施した。網を使用し、どのような生き物が水路に生息しているのか調査を行った。



31) 持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(鳴瀬川における魚類相調査)

【宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

鳴瀬川の河川環境を把握するため、魚類相調査を実施した。

	年 月	~2013		2014	2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023	
		6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	7	10	7	10	6	10	6	10	7	10	
サケ科	ヤマメ																					
	イワナ																					
コイ科	ウグイ・マルタウグイ																					
	カマツカ																					
	オイカブ																					
	ビワヒガイ																					
	ニオイ																					
	アブラハヤ																					
	タイリクバラタナゴ																					
	モンゴ																					
	ゲンゴロウナ																					
	キンブナ																					
タモロコ																						
タナゴ類																						
タナゴ																						
タナゴ類																						
キュウリ科	アユ																					
	ワカサギ																					
ボラ科	ボラ																					
	ワカサギ																					
カンガ科	カンガ																					
ドンヨウ科	ドンヨウ																					
	シマシマヨウ																					
サツカツコ科	オオクチバス																					
ハゼ科	オオシノボリ																					
	シマシノボリ																					
	トウヨシノボリ																					
	ジュズカケハゼ																					
	ヨシノボリ類																					
	マハゼ																					
	ウキヨリ																					
スマチテブ																						
種数		25	24	9	5	8	11	6	8	8	5	8	8	9	0	8	9	11	4	9	8	7

(4) 名取川流域

32) 水質汚濁対策連絡協議会による活動【東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川・湖沼及び水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図るため、河川の水質汚濁防止のための連絡調整や水質異常時の対応に関する講習会、河川ゴミ対策及び水質汚濁対策に関する啓発活動を行った。



33) 広瀬川1万人プロジェクト(一斉清掃)【仙台市(建設局百年の杜推進課)】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

「杜の都・仙台」のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするために、100万都市仙台の1%にあたる1万人をキーワードに、市民・企業・行政が連携して、春と秋に広瀬川流域の一斉清掃を行ないました。



34) 増田川の清掃活動【キラキラパーク増田西】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

各種団体や川の沿線住民にポスティングで参加を呼びかけ、増田川清掃活動を3月から12月にかけて5回実施した。



35) 貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり

【特定非営利活動法人 水・環境ネット東北】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

新浜町内会が主催し、①自然観察、②渡し舟と舟遊び(2回)、③生き物観察、④くらし(松葉さらい)の各テーマで、新浜フットパスのイベントが開催された。

また、貞山運河倶楽部が主催し、さくば(小型和船の曳船(2回)、貞山運河界限にアーティストが製作した小屋を巡るイベント(4回)、貞山運河フォーラムが開催された。



36) 水生生物による簡易水質調査【東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

水生生物を調べることで、水質状況を評価しながら河川愛護の認識を深めてもらうことを目的に、仙台市立八木山中学校の生徒が、水生生物による簡易水質調査を実施した。



37) 青下の杜プロジェクト【仙台市】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

企業等と協働により水源涵養林の保全育成及び水源保全の啓発を図ることを目的に、協力企業と協働による、水源涵養林の保全活動（花植え体験、間伐、鳥の巣箱設置・どんぐり拾い）を実施した。



38) ①水源の森活動 ②工場周辺清掃活動 ③防風林育樹活動

【麒麟麦酒株式会社 仙台工場】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

①仙台工場で使用する水は釜房ダムの水であることから、釜房ダムの水源地の森林保全活動を実施した。
 ②工場周辺の清掃活動を毎月定期的に行っています。
 ③東日本大震災時の津波により壊滅的な被害を受けた国有林を再生する活動を実施しており、2013年にクロマツを植栽した荒浜地区での下草刈りと、枯れた松の捕植作業を実施した。



39) 水辺教室【宮城県環境生活部環境対策課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

川崎町立富岡小学校、第二小学校及び川崎小学校の生徒を対象に水辺の環境を題材とした講義や野外観察（水生生物調査、水質調査）を通して、身近な水環境を守っていくことの大切さや水質を保全することの重要性を学んでもらう水辺教室を開催した。



40) 名取川水系河川水辺の国勢調査(植物)【東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

名取川水系における植物の生息状況を把握し、河川環境保全・管理の基礎資料とすることを目的に、名取川水系の植物の経年変化の把握を実施した。

確認された主な重要種



ホツソモ



ハママツナ



ハマナス



ナミキノコ



アレチウリ



オオカワヂシャ

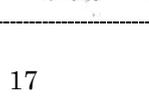


オオハンゴンソウ



オオキンケイギク

確認された主な外来種



41) ガサガサ体験【キラキラパーク増田西】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

増田川親水公園を活用して、ガサガサ体験（水生生物調査）を実施したほか、笹船作り等の川遊びを通して川への親しみや大切さを学ぶイベントを開催した。



42) みやぎの地域資源保全活用支援事業における環境学習会

【宮城県農政部農山漁村なりわい課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

名取市立高館小学校の5・6年生を対象とし、高館地区の水路周辺に生息する生物の自然環境における役割、また、人の暮らしとの繋がりや生物保全についての学習会を開催し、生物多様性の重要性について啓発活動を行った。

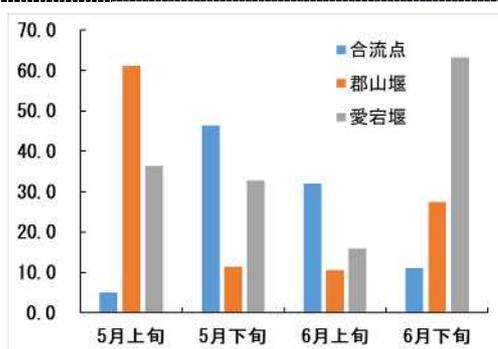


43) 持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業（広瀬川における天然アユの遡上調査）

【宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

5月、6月に投網を用いてアユを採捕し、アユの遡上量について調査した。調査結果は速報として、宮城県のホームページ上に公開した。



44) 蒲生干潟自然再生協議会及び構成員による活動【宮城県環境生活部自然保護課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

渡り鳥にとって渡来の中継地である良好な湿地環境を保全、生態系の劣化防止、現状の改善に資するよう干潟の適正な空間利用（持続可能な利用）を図り、環境保全活動・環境教育を通して生きた自然に接することができる場、多様な主体が交流する場、情報を共有する場を創出することを目的に、蒲生干潟自然再生協議会の開催、構成員による干潟の保全や利活用を実施した。



(5) 阿武隈川流域

45) 水質汚濁対策連絡協議会による活動【東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川・湖沼及び水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図るため、河川の水質汚濁防止のための連絡調整や水質異常時の対応に関する講習会、河川ゴミ対策及び水質汚濁対策に関する啓発活動を行った。



46) 河川空間美化&竹財活用プロジェクト【特定非営利活動法人 あぶくまの里山を守る会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

毎月第3日曜日を竹林清掃の日と定め竹の間伐や清掃活動を実施したほか、枯れ竹を無煙炭化器で炭焼き、不要な青竹を生ごみコンポストの基材にするなど、資源としての竹の活用を広げた。



47) 蔵王ジオパーク構想 出前講座「流れる水のはたらき」【蔵王町】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

環境保全について理解を深めるとともに、郷土愛の醸成を図ることを目的に、河川の上流～下流（海）における、住んでいる生物、石や地形、土地利用の変化を見ることで「浸食・運搬・堆積」の作用が私たちの生活にどのような恩恵や災害をもたらしているかを学ぶ講座を開いた。



48) 南蔵王の荒地を広葉樹の森へ復元する事業

【特定非営利活動法人 蔵王のブナと水を守る会】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

整備した3つの森(13.7ha)の下草刈り、枝打ち、間伐等の育林作業をした。また、高木の成長を調査した。他にも、カメラを設置し動物の生態調査を行いHPで公開した。



49) 阿武隈川下流河川水辺の国勢調査(両生類・爬虫類・哺乳類)【東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

阿武隈川下流における河川水辺の国勢調査の一環として両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況を把握し、河川環境保全・管理の基礎資料とするため、阿武隈川下流流域の両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況の経年変化を把握した。



50) みやぎの地域資源保全活用支援事業における生き物調査(白石市立福岡小学校)

【宮城県農政部農山漁村なりわい課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

白石市土地改良区職員が指導員となり、白石市立福岡小学校の5年生児童を対象として福岡長袋地域の水源における生き物調査を実施した。また、採取した生き物を観察し、地域の生態系の保全及び環境保護について学習した。



51) 亘理用水路学習会【宮城県農政部農村振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

逢隈小学校4年生109名、渡り小学校4年生102名、山下第一小学校4年生10名を対象に亘理用水路の役割について学習会等を開催したほか、高屋小学校2年生6名と水路で生き物調査し阿武隈川が水田に暮らす生物を育て、人間の暮らしを支えていることについて学習した。



(6) 複数流域にまたがる取組

◆南三陸海岸・北上川流域での取組◆

52) フィールドミュージアム事業【東北地方環境事務所】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

自然体験拠点としての石巻・川のビジターセンター及び南三陸・海のビジターセンターの運営のほか、自然体験プログラムの企画、実施を行った。



◆北上川・鳴瀬川流域での取組◆

53) 水質汚濁対策連絡協議会による活動【東北地方整備局】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

河川・故障及び水路等の水質汚濁防止のための連絡調整及び河川ゴミ対策および水質汚濁防止に関する啓発活動を行った。



◆名取川・阿武隈川流域での取組◆

54) 協定締結による国民参加の森林づくり【仙台森林管理署】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

地域住民が自主的に行う森林整備活動を推進するため、国民参加の森林として設定する「ふれあいの森」、国有林野を活用した体験活動等を実施する「遊々の森」、東日本大震災により被災した海岸防災林再生活動を実施する「社会貢献の森」と協定を締結（協定面積：約530ha）し、それぞれの団体において、下草刈り、除伐などの森林整備活動や多様な森林体験・自然観察等の取組みが行われた。



◆南三陸海岸・北上川・鳴瀬川流域での取組◆

55) 宮城県海ごみ環境学習【宮城県環境生活部循環型社会推進課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

海岸漂着物等の問題の解決に向けて、将来にわたる継続的な対策を行うことを目的として、海岸漂着物等の専門講師に依頼し、県内の小学校等で、子供が海のごみについて理解を深められるよう、環境教育を実施した。



◆南三陸海岸・北上川・鳴瀬川・阿武隈川流域での取組◆

56) みやぎの里山林協働再生支援事業【宮城県環境生活部自然保護課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

近年、手入れが行き届かず荒廃が進む里山林において、CSR 活動の一環として森林づくりに取り組む企業と、活動の場が提供できる森林所有者との橋渡し役となって里山林の整備を支援した。



◆南三陸海岸・北上川・鳴瀬川・名取川・阿武隈川流域での取組◆

57) 多面的機能支払交付金事業【宮城県農政部農山漁村なりわい課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

地域の共同活動により、農地及び農業用水路等の保全管理を行った。具体的には、対象区域の水路の泥上げ・草刈り・補修等を実施した。他にも、子供会等と連携した生きもの調査を実施した。



58) みやぎスマイルリバープログラム【宮城県土木部河川課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

要件を満たす場合には、管轄する各土木事務所または各地方ダム総合事務所が認定し、希望に応じて団体名を表示した看板設置活動に必要な物品の支給及び草刈り機の無料貸出を行っている。また、活動中の事故等に備えて傷害保険に加入している。



59) みんなの森林づくりプロジェクト推進事業【宮城県水産林政部林業振興課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

森林づくりや緑化活動を実施している団体に対し、森林整備などの森林づくり活動、環境緑化活動の支援を行った。



60) 百万本植樹事業【宮城県環境生活部自然保護課】

清らか	豊か	安全	生態系
-----	----	----	-----

被災地での緑化活動をはじめ、市町村、住民団体、ボランティア団体、企業等が地域の緑化推進を目的に自ら植樹活動を行う場合に、当該団体等に県が予算の範囲内において緑化木及び植樹用資材を配布した。



3 水道水源特定保全地域の指定

水道水源特定保全地域は、ふるさと宮城の水循環保全条例に基づき、流域の健全な水循環を保全するため、「山間部の水道水源地域のうち、その流域の良好な水循環の保全を図る上で特に重要と認められる区域」を指定することとなっている。

そのため、流域の水循環の出発点である重要な水源かん養機能（降水を土壤に浸透・保水させて、その後、時間をかけ河川へ水を供給する機能）を有しており、生態系が安定し、生命活動が盛んな天然又はそれに近い山間部の森林地域を水道水源特定保全地域として指定している。

水道水源特定保全地域の指定面積は 1,118.3km²で、県土の約 15.4%を占める。指定状況については、下記のとおり。

- ・ 鳴瀬川流域：大和町、色麻町、加美町の一部を、H22年指定（R2年変更（拡張））
- ・ 北上川流域：栗原市、大崎市の一部を、H24年指定（R3年変更（拡張））
- ・ 名取川流域：仙台市、川崎町の一部を、H24年指定（R3年変更（拡張））
- ・ 阿武隈川流域：白石市、蔵王町、七ヶ宿町、村田町の一部を、R5年指定



注1 指定区域は、いずれも県西部の奥羽山脈付近に集中しており、指定区域の70%以上は国有林である。

注2 地域内で開発事業を実施する場合は、条例に基づく届出が必要となる場合がある。

注3 詳細な区域は、県環境対策課のホームページを参照のこと。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/suidousuigen.html>

図Ⅱ 水道水源特定保全地域

4 流域水循環計画推進会議の開催

流域の健全な水循環の保全を推進するためには、県民、民間団体、NPO法人、事業者、行政機関等の各主体が、それぞれの立場に応じた役割分担のもと、自主的・積極的かつ連携した水循環保全施策に取り組む必要がある。

そのため、平成 21 年度から毎年（東日本大震災の影響により、平成 22 年度及び平成 23 年度は中止。令和 2 年度及び令和 3 年度は、新型コロナウイルスの影響により開催を見送ったが、各団体の取組状況をまとめ、情報共有を図った。）各流域で活動している民間団体や行政機関等を参集して、各団体の活動及び行政機関の実施した取組の情報共有を行うとともに、意見交換を行う場として流域水循環推進会議を開催している。

表Ⅳ これまでの開催経緯

年度	流域水循環計画推進会議 開催内容
H21	意見交換、事業情報提供等 (鳴瀬川流域)
H22	東日本大震災の影響により中止
H23	東日本大震災の影響により中止
H24	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H25	基調講演、事業情報提供、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H26	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H27	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H28	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H29	現地視察(野蒜築港跡、北上運河、カヌー体験等)、会議(情報提供等) (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
H30	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
R1	現地視察(加御坊山、蕪栗沼、長沼ダム、伊豆沼・内沼等)、会議(基調講演、事業情報提供等) (鳴瀬川・北上川・名取川流域合同)
R2	新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催中止、書面での情報共有
R3	//
R4	基調講演、取組事例紹介、意見交換等 (南三陸海岸・阿武隈川流域個別)
R5	取組事例紹介、意見交換等 (北上川・鳴瀬川・名取川流域個別)

5 管理指標による状況評価

流域水循環計画では、水循環に関わる4つの要素について現状を把握するための管理指標を設定し、その評価に基づいて健全な水循環の保全を図るための施策を効果的に推進することとしている。令和5年度の管理指標と流域毎の状況については、次のとおりであった。

(1) 南三陸海岸流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」は、10点満点中9.2点で、前年より1.5ポイント上昇した。

「豊かな流れ」は、10点満点中9.0点で、地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、10点満点中6.8点で、前年より1.1ポイント上昇した。海岸整備指標は、沿岸部の復旧・復興工事の進捗により上昇傾向となっている。

「豊かな生態系」は、10点満点中5.6点で、前年より0.1ポイント下がっているものの近年はおおむね横ばいで推移している。

表V-1 南三陸海岸流域の管理指標の状況

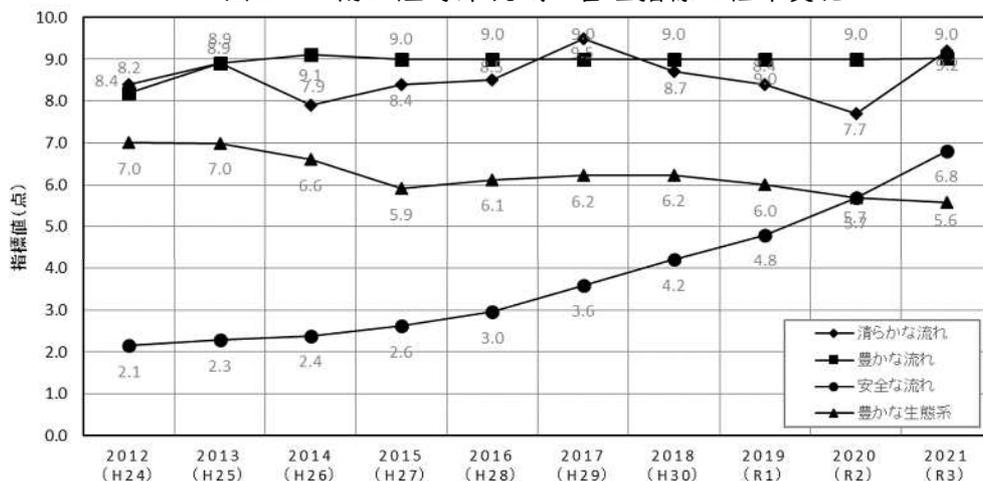
南三陸海岸流域		2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	増減(前年比)	
清らかな流れ	水質環境基準達成度	8.4	8.9	7.9	8.4	8.5	9.5	8.7	8.4	7.7	9.2	1.5	↗
	豊かな流れ	8.2	8.9	9.1	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	0.0
	地下水涵養指標	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0	8.0	8.0		
	正常流量達成度	-	9.6	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
安全な流れ	安全な流れ	2.1	2.3	2.4	2.6	3.0	3.6	4.2	4.8	5.7	6.8	1.1	↗
	河川整備指標	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4		
	海岸整備指標	0.0	0.3	0.5	1.0	1.6	2.9	4.1	5.2	7.0	9.2		
豊かな生態系	豊かな生態系	7.0	7.0	6.6	5.9	6.1	6.2	6.2	6.0	5.7	5.6	-0.1	↘
	植物環境指標	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2		
	河川生物生息環境指標	7.8	7.8	6.9	5.6	6.1	6.3	6.3	5.8	5.1	4.9		

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和5年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和3年度値となる。

図II-1 南三陸海岸流域の管理指標の経年変化



(2) 北上川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」は、10点満点中7.0点で、前年より0.3ポイント上昇した。

「豊かな流れ」は、10点満点中8.6点で、地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、10点満点中7.8点で、前年より1.6ポイント上昇した。海岸整備指標は、沿岸部の復旧・復興工事の進捗により上昇傾向となっている。

「豊かな生態系」は、10点満点中6.7点で、前年より0.2ポイント上昇した。

表 V-2 北上川流域の管理指標の状況

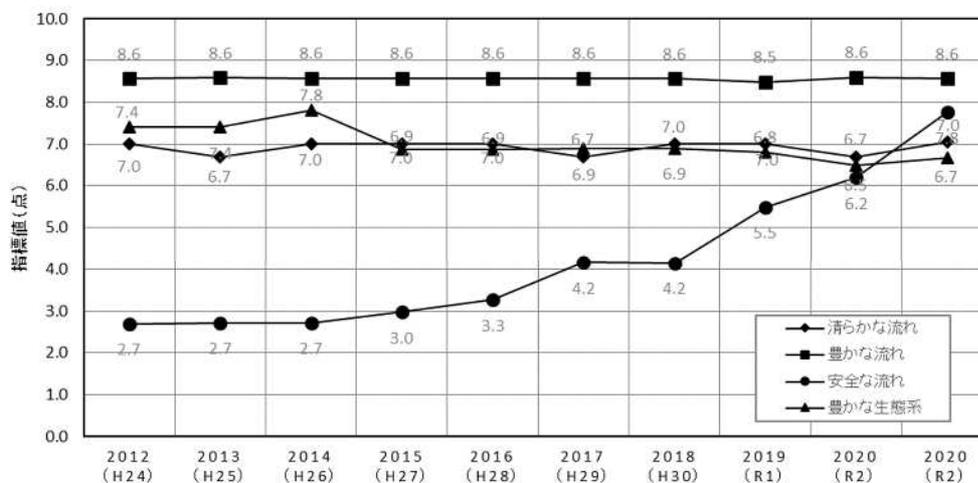
北上川流域		2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	増減(前年比)		
清らかな流れ	水質環境基準達成度	7.0	6.7	7.0	7.0	7.0	6.7	7.0	7.0	6.7	7.0	0.3	↗	
	豊かな流れ	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.5	8.6	8.6	0.0	→	
	地下水涵養指標	7.2	7.2	7.2	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1			
	正常流量達成度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	9.8	10.0	10.0			
安全な流れ		2.7	2.7	2.7	3.0	3.3	4.2	4.2	5.5	6.2	7.8	1.6	↗	
	河川整備指標	5.4	5.4	5.4	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5			
	海岸整備指標	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0	2.8	2.8	5.5	6.9	10.0			
豊かな生態系		7.4	7.4	7.8	6.9	6.9	6.9	6.9	6.8	6.5	6.7	0.2	↗	
	植物環境指標	-	-	-	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8		
	河川生物生態環境指標	7.4	7.4	7.8	8.0	8.0	8.0	8.0	7.8	7.2	7.5			

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和5年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和3年度値となる。

図 II-2 北上川流域の管理指標の経年変化



(3) 鳴瀬川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」は、10点満点中6.9点で、横ばいで推移している。

「豊かな流れ」は、10点満点中8.7点で、地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、10点満点中8.7点で、前年より0.3ポイント上昇した。海岸整備指標は、沿岸部の復旧・復興工事の進捗により上昇傾向となっている。

「豊かな生態系」は、10点満点中7.2点で、植物環境指標、河川生物生息環境指標ともに横ばいで推移している。

表V-3 鳴瀬川流域の管理指標の状況

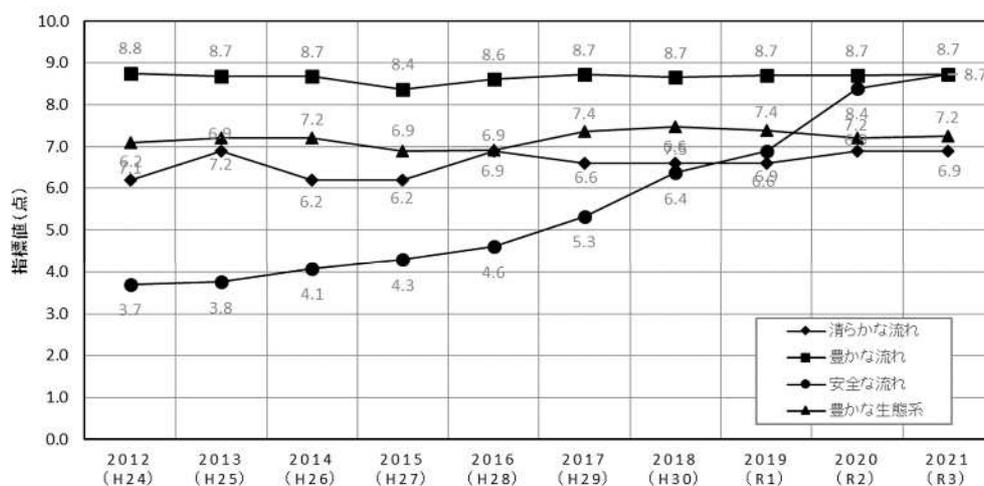
鳴瀬川流域		2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	増減(前年比)	
清らかな流れ	水質環境基準達成度	6.2	6.9	6.2	6.2	6.9	6.6	6.6	6.6	6.9	6.9	0.0	⇒
	豊かな流れ	8.8	8.7	8.7	8.4	8.6	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	0.0	⇒
	地下水涵養指標	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		
	正常流量達成度	10.0	9.9	9.9	9.3	9.7	10.0	9.8	9.9	10.0	10.0		
安全な流れ		3.7	3.8	4.1	4.3	4.6	5.3	6.4	6.9	8.4	8.7	0.3	⇒
	河川整備指標	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.5	7.5		
	海岸整備指標	0.0	0.1	0.8	1.2	1.8	3.3	5.4	6.5	9.3	10.0		
豊かな生態系		7.1	7.2	7.2	6.9	6.9	7.4	7.5	7.4	7.2	7.2	0.0	⇒
	植物環境指標	-	-	-	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2		
	河川生物生息環境指標	7.1	7.2	7.2	7.6	7.6	8.6	8.7	8.6	8.3	8.3		

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和5年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和3年度値となる。

図II-3 鳴瀬川流域の管理指標の経年変化



(4) 名取川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」は、10点満点中7.6点で、横ばいで推移している。

「豊かな流れ」は、10点満点中8.3点で、前年より0.3ポイント減少した。地下水涵養指標及び正常流量達成度ともにおおむね横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、10点満点中8.8点で、前年より1.2ポイント上昇した。海岸整備指標は、沿岸部の復旧・復興工事の進捗により上昇傾向となっている。

「豊かな生態系」は、10点満点中7.3点で、植物環境指標及び河川生物生息環境指標ともに横ばいで推移している。

表V-4 名取川流域の管理指標の状況

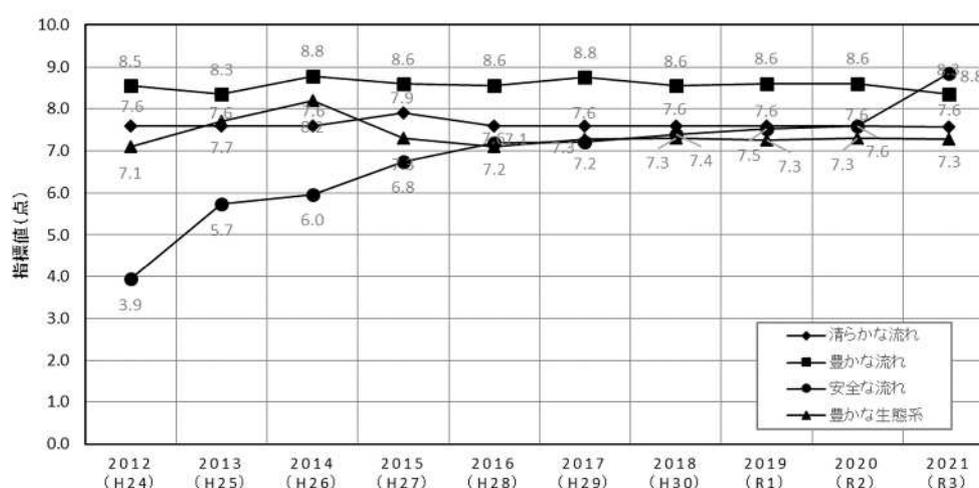
名取川流域		2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	増減(前年比)		
清らかな流れ	水質環境基準達成度	7.6	7.6	7.6	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	0.0	→	
	豊かな流れ	8.5	8.3	8.8	8.6	8.6	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	-0.3	↘	
安全な流れ	地下水涵養指標	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.6	7.6	7.6	7.6			
	正常流量達成度	9.4	9.0	9.9	9.5	9.5	9.8	9.5	9.6	9.6	9.1			
	河川整備指標	3.9	5.7	6.0	6.8	7.2	7.2	7.4	7.5	7.6	8.8	1.2	↗	
豊かな生態系	海岸整備指標	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9		
	植物環境指標	0.0	3.5	4.0	5.6	6.5	6.5	6.9	7.1	7.2	9.8			
	河川生物生息環境指標	7.1	7.7	8.2	7.3	7.1	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	0.0	→
	植物環境指標	-	-	-	6.4	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5			
	河川生物生息環境指標	7.1	7.7	8.2	8.2	7.8	8.1	8.1	8.0	8.0	8.0			

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和5年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和3年度値となる。

図II-4 名取川流域の管理指標の経年変化



(5) 阿武隈川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」の管理指標値は10点満点中8.8点で、前年より0.7ポイント上昇した。

「豊かな流れ」は10点満点中9.0点で、地下水涵養指標及び正常流量達成度ともに横ばいで推移している。

「安全な流れ」は10点満点中8.5点で横ばいで推移し、海岸整備指標は、10点であり沿岸部の復旧・復興工事は完了している。

「豊かな生態系」は10点満点中7.1点で、前年より0.1ポイント上昇した。植物環境指標、河川生物生息環境指標ともにおおむね横ばいで推移している。

表V-5 阿武隈川流域の管理指標の状況

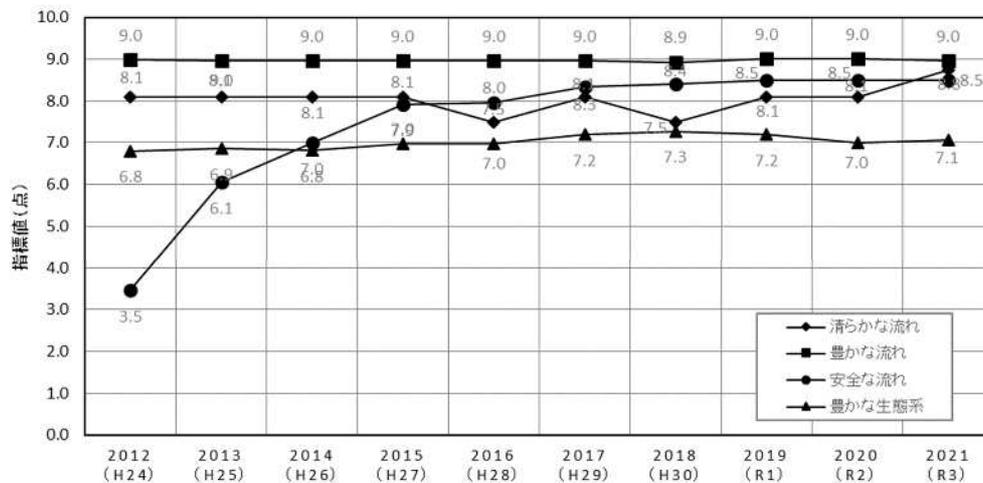
阿武隈川流域		2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	増減(前年比)	
清らかな流れ	水質環境基準達成度	8.1	8.1	8.1	8.1	7.5	8.1	7.5	8.1	8.1	8.8	0.7	↗
	豊かな流れ	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	8.9	9.0	9.0	9.0	0.0	⇒
	地下水涵養指標	8.0	8.0	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9		
	正常流量達成度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	9.9	10.0	10.0	10.0		
安全な流れ	安全な流れ	3.5	6.1	7.0	7.9	8.0	8.3	8.4	8.5	8.5	8.5	0.0	⇒
	河川整備指標	6.9	6.9	6.9	7.0	7.0	6.9	7.0	7.0	7.0	7.0		
	海岸整備指標	0.0	5.2	7.1	8.9	9.0	9.7	9.8	10.0	10.0	10.0		
豊かな生態系	豊かな生態系	6.8	6.9	6.8	7.0	7.0	7.2	7.3	7.2	7.0	7.1	0.1	↗
	植物環境指標	6.2	6.2	6.2	6.2	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3		
	河川生物生息環境指標	7.4	7.5	7.4	7.7	7.7	8.1	8.2	8.1	7.7	7.8		

注1 管理指標値は、10点満点としている。

注2 管理指標の項目は、宮城県水循環基本計画(第2期:令和3年度から令和12年度まで)で定めている。

注3 令和5年度の評価として算出する管理指標値は、算出のために使用する最新のデータが令和3年度値となる。

図II-5 阿武隈川流域の管理指標の経年変化



(6) 宮城県全体の管理指標まとめ

「清らかな流れ」は海域 COD の環境基準達成度が改善され、前年より 0.7 ポイント上昇となっている。

「豊かな流れ」は横ばいで推移している。

「安全な流れ」は、海岸整備指標の復旧・復興工事が進捗したことにより、前年より 0.8 ポイント上昇となっている。

「豊かな生態系」は、横ばいで推移している。

表 V-6 宮城県全体の管理指標の状況 (R2→R3)

流域	清らかな流れ	豊かな流れ	安全な流れ	豊かな生態系
南三陸海岸流域	7.7→9.2点	9.0→9.0点	5.7→6.8点	5.7→5.6点
北上川流域	6.7→7.0点	8.6→8.6点	6.2→7.8点	6.5→6.7点
鳴瀬川流域	6.9→6.9点	8.7→8.7点	8.4→8.7点	7.2→7.2点
名取川流域	7.6→7.6点	8.6→8.3点	7.6→8.8点	7.3→7.3点
阿武隈川流域	8.1→8.8点	9.0→9.0点	8.5→8.5点	7.0→7.1点
宮城県全体	7.4→8.1点 (目標値 8.5)	8.7→8.7点 (目標値 8.7)	7.3→8.1点 (目標値 6.8)	6.7→6.7点 (目標値 7.2)

(指標値は10点満点)(カッコ内はR3年度値における目標値)